

作者の小波南洋（1844～1918）は愛媛県出身の日本画家で、京都で四条派の絵師に学んだのち、7年にわたり九州各地を渡り歩きました。南洋は本市にも訪れていて、地元の絵師たちに多大な影響を与えたといわれています。

ひげをたっぷりと口元にたくわえた老人が、宙に浮かぶほど軽やかに駆けるさまを描いた本作。ユニークな印象が目立つ中にも、衣服をまとった身体しんたいの軽やかさを流れるような筆の運びで表現したり、墨の濃淡でひげや髪かみの白さを際立たせたりするなど、南洋の確かな技術力で作品の世界観を破綻なく成立させています。

※本作は、8月18日(日)まで開催中の収蔵作品展「夏休み企画＜入門＞アートの疑問『にんげんっていいな』」で展示しています

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

「無題」

小波 南洋 作 （制作年不詳）



ヤマエ食品工業（株）のれん

創業以来、同社が世に送り出した商品は、千点以上。「『高千穂峡つゆ』などの家庭用商品のイメージが強い中で、実はその売上の6割を占めるのは業務用の商品。これまで受け継がれ、培ってきた高い技術力と、さまざまな商品に対応できる製造ラインを強みに、顧客ニーズに応える

明治4年に創業し、今年で153年目を迎えるヤマエ食品工業株式会社。みそやしょうゆの醸造をはじめ、そこから派生するつゆやたれなどの開発・製造を手がける調味料メーカーです。

創業以来、同社が世に送り出した

「商品と共に、会社の歴史も一緒に発信していきたい」との思いで、江夏社長が中心となり改装を進めてきた創業者江夏岩吉氏の旧宅が、令和4年に国の有形文化財に登録されました。歴史が詰まったこの場所、地域の人と楽しく過ごせるような催しを開催することも社長の夢の一つ。「伝統を守りつつも日々挑戦し続け、世界中で必要とされる企業でありたい」と語る江夏社長のまなざしは、確かな覚悟と自信に満ちあふれていました。

商品を開発しています」と話すのは江夏啓人社長です。近年、海外で和食の需要が高まる中、基礎調味料となるしょうゆやみそを世界へ発信していくため、営業部と共に世界中を駆け回る江夏社長。その営業努力が実を結び、現在では台湾やスウェーデンなど10カ国へ商品を輸出しています。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.47

ヤマエ食品工業株式会社

☎22-4611



社長 江夏啓人さん

| History exploration |

歴史探訪！

黒くてピカピカ、黒曜石!!

マグマの一部が急速に冷え固まってできた火山岩である黒曜石。黒くてピカピカと光っています。ガラス質で硬く、割れると鋭くとがった破片になるため、縄文時代を中心に石器の材料として使われました。

石器を作るには、大きな石を割って手ごろな破片にし、鹿の角などで細かく剥ぎ取るように整形します。その時にできる貝殻が割れた時のような丸く剥がれた痕跡から、研究者はどのように作られたのかを推測します。また、産地によって特徴が異なる黒曜石。遺跡からは、遠方で産出された黒曜石も見つかるため、当時の人々の技術や交流など、さまざまなことを推し量ることもできます。



やじり
黒曜石の鎌

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

当時の人々の暮らしをうかがい知ることができる小さな黒曜石の石器。市内の遺跡から見つかった同石器は都城歴史資料館の常設展で展示しています。

※市公式YouTubeでは、石器の作り方を紹介しています



都城島津
伝承館
だより



「庄内地理志」巻六十六 北郷・中之郷・南郷・都城・都島由来

「『庄内地理志』巻六十六 北郷・中之郷・南郷・都城・都島由来」

江戸時代後期に編さんされた「庄内地理志」巻六十六に収録されている本史料。都城島津家に関する記録の調査や保存を担った「庄内旧伝編集方」により、北郷や都城、都島などを含む地名の由来について書かれています。

「都城」という名称は、古に天皇（宮様）の住む場所だったという言い伝えから宮古となり、そこに城があったことから宮古城となりました。さらに、その城の中心が島のような高台であったため、宮古島と呼ばれ、後に現在の「都城」や「都島」という表記になったと記されています。また、現在の都城盆地しまづのしょうを指す「庄内」の地名は、島津荘に由来し、北郷・中之郷・南郷に分けた中心を「都城」と呼びました。

島津家が誕生した都城が、天皇家と深いつながりがある地であることを強調した本史料からは、西洋列強に脅かされる幕末の日本で、尊王攘夷の思想が強まったことをうかがい知ることができます。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

※都城島津伝承館は、展示設備改修のため8月2日(金)まで臨時休館

今月の読者プレゼント



木下大サーカス宮崎公演ペア招待券 10組20人
プレゼント提供事業者

木下大サーカス宮崎公演事務局（宮崎市橋通東4-2-6）
☎0985-25-0450

木下大サーカス宮崎公演を8年ぶりにイオンモール宮崎で開催。今回は、ペア招待券をプレゼントします。夢と希望があふれる奇跡のステージ。家族や友人とぜひ来場ください。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、8月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

◎応募締め切り 8月31日(土) 当日消印有効
◎当選者発表 本紙10月号
◎6月号当選者 Pikaさん ほか4人
◎6月号応募総数 154通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

63円切手を
お貼りください

8 8 5 8 5 5 5

都城市役所 秘書広報課 行

（広報都城 No.224 2024年8月号）

フリガナ

氏 名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住 所 □□□□□□□□

電話番号（ ） —

▶点線に沿ってお切りください（郵便はがきでも可）

私の夢

新村 りゅうと 龍斗さん 西岳小6年

リオネル・メッシのような
世界一のサッカー選手になりたい



都 城 市 現 住 人 口

令和6年7月1日現在	前 月 比	前 年 比
世 帯 数	73,618世帯	(0)
人口総数	159,579人	(-67)
男 性	75,116人	(-57)
女 性	84,463人	(-10)

スマートフォンからも統計情報を確認できます。



※令和2年国勢調査に基づく推計人口

編集後記

熱中症警戒アラートが毎日のように発令されるこの頃。体温を超えるほどの最高気温を記録する日も少なからずある中、地球温暖化を嫌でも実感しています。地球温暖化を防止する取り組みとして本紙6月号で特集したエコ活。家に眠っているエコバッグを、忘れずに買い物に持っていくことから始めたいです。(祐)

8年ぶりに大相撲都城場所が早水公園体育文化センターで開催されます。相撲中継が大好きな家族の影響で、いつかは生で観たいと思っていた大相撲。気迫あふれる取り組みを都城で見られる貴重なチャンスに胸が躍っています。番付や勢いのある力士などを予習して、この機会を目いっぱい楽しみたいと思います。(茉)

みずほPayPayドーム福岡で開催された福岡ソフトバンクホークス公式戦「都城DAY」取材しました。目の前で繰り広げられる大迫力のプレーや、観客が一体となった大声援。全てが初めての経験で感動しっぱなしの一日でした。スポーツ観戦に縁の無い生活でしたが、これを機にハマりそうな予感がします。(志)

都城フィロソフィ[®]

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第4章 結果にこだわる

自治体の常識・殻を打ち破る

自治体は、前例を踏襲しがちですが、時勢が目まぐるしく変わる現在、既存の考え方に捕らわれてしまつては、市民が本当に必要なサービスを提供することはできません。また、新たな課題に柔軟に対応することもできません。

自治体だからこそあるべきという固定観念に捕らわれず、自由で前向きな発想で、市民のために何が最良であるかを判断し、果敢に実行していくことが、「日本一の市役所」を目指すための土台となります。

自治体の常識・殻を打ち破ることは、自分の成長にもつながります。常に、都城市、そして自分の持つ無限の可能性を信じ、勇気を持って挑戦する姿勢こそが、素晴らしい成長をもたらします。

届けたい都城の風景



「南部ふれあい広場・ひまわり」(大岩田町)



「御池」(夏尾町)



「#幸せ上々みやこのじょう」をつけて投稿するだけ！
インスタ都城では、毎年2回「インスタ都城選手権」を開催しています。エントリー方法は、市内の景色やモノ、コトの写真に「#幸せ上々みやこのじょう」のハッシュタグをつけて投稿するだけ。投稿の中から、本アカウントがリポストした写真が受賞候補作品としてノミネートされます。



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介！

インスタ都城選手権で幸せ上々

◎問い合わせ みやこんじょ PR課 ☎23-2615

ノミネート作品の中から選ばれた受賞者には、都城の「おいしい」と「うれしい」が詰まった賞品をプレゼント。ぜひ皆さんの目に映る「都城」を撮影して、投稿ください。
◎開催時期 前期 4月～9月 後期 10月～2月
「インスタ都城写真展2024」前年度に本アカウントがリポストした皆さんの写真を展示する写真展を市内各所で開催予定。日程など詳しくは、本アカウントを確認ください。

新刊紹介

おすすめ図書

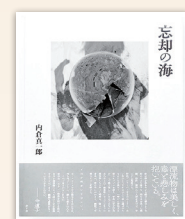
◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



ぺこぺこ

佐野洋子(作・絵)、講談社(出版)

むかしむかし、全然いばらない王さまがいました。お妃さまやコックさん、お皿の上の魚にも、ぺこぺこと頭をさげます。ある日、となりの国の軍隊がやってきて…。



忘却の海

内倉真一郎(著)、赤々舎(出版)

宮崎の海辺に流れ着いた、もしくは置き忘れられた時計や人形、メガネなどを丹念に撮影。かつて誰かが作り、使っていた、忘れられたものたちの写真集です。

【市立図書館】 ●休館日／9月3日
●開館時間／9:00～21:00

【高城図書館】 ●休館日／8月6日・11日・13日・18日・20日・27日、9月3日・10日・15日・16日
●開館時間／9:30～18:00

まちなか de わくわく

まちなかキッチン料理教室 参加者募集中！



都城圏域のプロの料理人から知識や技術を学べるまちなかキッチン料理教室。毎年大好評の本教室を今年も開催します。

各教室について詳しくは、webサイト「まちたん」を確認し、申し込みください。

■場所 Mallmall まちなかキッチン
■料金目安 3千円～5千円

■その他 応募多数の場合、抽選

◎問い合わせ まちなか交流センター ☎21-6121

